



中国：H7N9 海珠の料理店厨房から3個のウイルス検出

全球流感资讯网 kickingbird www.flu.org.cn 2014-01-10 18:09 来源：新快报

近日広東省初の**H7N9**感染者がこの料理店に家禽を配達していたが、従業員には症状がみられていない。

広東省衛生計生委の報告では、1月10日、広州市CDCが広州市海珠区迎福閣酒楼厨房で採取した17個の検体中、3個の検体から**H7N9**鳥インフルエンザウイルスの核酸陽性反応が出た；省CDCがスワトー（汕頭）市の金平区龍北市場にある外部環境モニタリングで採取した34検体中8サンプルから**H7N9**鳥インフルエンザウイルス核酸陽性反応を検出した。現地政府は直ちに応急対応プランを発動し、有効な措置を採り、関連した予防管理と処置活動を実施している。

料理店の俎板と汚水中からウイルス検出

先日、省衛生計生委は、1月6日、広州市で1名のヒト感染**H7N9**鳥インフルエンザ患者が確定診断された。広州市が報告した患者は、茂名籍の47歳男性、謝さんで、仏山市南海区に居住し、家禽の販売と運送に従事していたが、2013年12月25日に発症し、2014年1月3日に仏山市南海区黄岐区の病院から広州医学院第一附属医院に転送されたが危篤だ。

「謝さんが活禽を海珠区迎福閣酒楼に配達しており、我々はこの酒楼の外部環境を検査してみました。」昨日、市疾病管理センターの王鳴主任は記者のインタビュー時に、この患者の活動範囲内の場所で検査を行った際に、執行部門はこの料理店の厨房の俎板と汚水サンプルから3個の**H7N9**鳥インフルエンザウイルス陽性反応が出たと語る。市疾病管理センターは、既にこの料理店の清掃と消毒を実施したが、従業員にはこれまでのところ疑うような症状がみられていないとしている。

厨房を検査範囲に組み入れ奮闘中

昨日、市疾病管理センターの楊智聰副主任は、記者のインタビュー時に、**H5N1**と比べ**H7N9**鳥インフルエンザウイルスの不顕性は更に強く、伝播力も強いこと、更に大流行を引き起こすリスクも具備していると話した。彼は、「高病原性の**H5N1**と比べて**H7N9**鳥インフルエンザは鳥類には低病原性で、鳥類に感染後にも見つかりにくく、病気の鳥類が直ちに殺処分されない為、人間が病気の鳥に触れる機会が増えてしまうのです」と語る。

楊智聰副主任は、更に、「昨年4月に全国で多くのヒト感染**H7N9**鳥インフルエンザ患者が発生して以後、広州疾病管理部門は外部環境中の**H7N9**ウイルスのモニタリングを続けてきたが、観測点の多くはマーケットや鳥類の卸売市場、鳥類生息地等であり、毎週の検査数量は200以上に上っていた。今後は料理店も極力観測範囲に入れてゆく」と語った。

●市疾病管理センターのアドバイス

生の鳥を処理した俎板や包丁等は、加熱・調理加工には用いないこと

1. 活禽を買って屠殺しないこと、病気の鳥や病死した鳥、獣肉には触れない、食べないこと。検疫証明書の無い生鮮、生きた、冷凍された鳥獣及びその商品は購入しない。
2. 生の鳥や獣肉、玉子等は必ずよく煮炊きすること。
3. 飲食の衛生に注意し、食品加工或いは食用プロセス中では、必ず加熱処理されたものと生ものを分別し、交差汚染を避け、生鳥や獣肉を処理した俎板や包丁類と容器を調理には使わないこと；生の鶏肉獣肉及び玉子類を加工処理するにあっては手洗いを励行することが必要である。

広東省では今後も陸続と散発的な患者や重症患者が発生する恐れあり

新快报報道 記者劉正旭 于揚 通信員 粵衛信報道 昨日、広東省の林少春副省长は、全省のヒト感染**H7N9**鳥インフルエンザ予防管理活動リーダーグループ会議を開催し、胡春華省委員会書記や朱小丹省長の予防管理活動の批判精神の実施貫徹をする為に専門家によるヒト感染**H7N9**鳥インフルエンザ流行状況を前に、下記の予防管理工作を手配した。

会議の席上、省ヒト感染**H7N9**鳥インフルエンザ予防管理専門家グループが流行に対して検討判断を進め、疫学研究的進展及び臨床治療の状況を報告し、且つ下記予防管理工作を提案し、省衛生計生委及び農

業庁、工商局等の単位は、最近の予防管理工作状況が報告された。

専門家グループは、広東省で散発的な患者や重症患者が引き続き発生する可能性はあるが、ヒト感染 **H7N9** ウィルスには個体差があり、基礎疾患や免疫欠陥のある人は発症リスクが高く、ウィルスは人類の活動とともに長期にわたり共存しているが、大規模なアウトブレイクのリスクは低いだろうと認識している。

林少春は、「広東省は、現在ヒト感染 **H7N9** 鳥インフルエンザ患者が発生しやすく、多発期でもあり、各地、各部門は人民の命と安全の確保という高度なところから出発し、警戒心を高度に田持、思想の麻痺と緩みを克服し、継続して連合予防管理を強化し、厳格にその職責を履行し、予防管理工作をしっかりとすること」と指摘をした。

林少春は、「感染源からしっかりと予防管理をせねばならず、継続して家禽交易市場の「一日一度の戦場と消毒、毎週一度の大掃除と毎月一度のマーケット閉鎖」の制度を徹底、清潔と消毒を実施し、衛生面の資格を残さぬこと。全面的に家禽交易や屠殺二十行している人員の衛生防護措置を実施すること。外部環境の検査パワーを強化し、鳥類の感染源の創作メカニズムを打ち立てて完全化し、速やかに鳥類市場の規範化建設を推進し、着実に生きた鳥の集中屠殺とコールドチェーン輸送の販売モデルを推進すること。治療方面については、継続して全省医療スタッフに対してその末端の医療人員に対する訓練を実施、ヒト感染 **H7N9** 鳥インフルエンザの診断や治療、重症患者の識別と転送のフローを完全に掌握させ、早期発見、早期報告、早期診断、早期治療をすることで発症率と死亡率の減少に取り組むように」と要求した。

<http://www.flu.org.cn/scn/news-17396.html>

China: 3 copies of H7N9 virus were detected at Haizhu's restaurant kitchen

Global Influenza Information Network kickingbird www.flu.org.cn 2014-01-10 18:09 Source: New Express

Prior to Guangzhou's first H7N9 infected people had sent poultry to a restaurant; restaurant staff has not shown any symptoms

According to the announcement of Guangdong Provincial Health and Family Planning Commission (HFPC), on January 7, 2014, Guangzhou City CDC detected 3 positive samples of H7N9 avian influenza virus nucleic acid from 17 external environmental samples collected at Yingfu Court restaurant of Haizhu District in Guangzhou city; Provincial CDC detected 8 copies of samples as positive for H7N9 avian influenza nucleic acid out of 34 external environmental samples collected from Longbei market at Jinping District of Shantou city. The local government immediately started emergency response plan, and has taken effective measures to do the relevant prevention and control, and disposal work.

Virus detected from a Restaurant's cutting board and sewage

Earlier, the Provincial Health and Family Planning Commission (HFPC) reported that on January 6, Guangzhou found a case of human infection with H7N9 avian influenza.

Guangzhou City reported a case (**FT#152**);

Name: Xie X

Gender: Male

Age: 47 years old

Current Domicile: Nanhai district in Foshan city

Occupation: Engaged in poultry transportation and sales

Date of Onset: December 25, 2013

Date of Admission: January 3, 2014, transported from Huangqi Hospital of Nanhai District to Guangzhou Medical Collage the first affiliated hospital

Current Situation: Critically ill

"Mr. Xie had been sending live birds to Ying Fuk Court Restaurant at Haizhu District, therefore we have tested the external environment of the restaurant." Yesterday, the city CDC director Wang Ming said in an interview, "in testing the range of his activities, the disease control department detected three copies of H7N9 virus positive samples from the chopping board and sewage at the restaurant's kitchen. City CDC said that the restaurant has been cleaned and disinfected; the staffs of the restaurant has shown no suspicious symptoms".

<<We dare leave out the translation of the rest. If necessary, please utilize mechanical transmission. >>

中国：广州海珠一酒楼厨房检出 3 份 H7N9 病毒

全球流感资讯网 kickingbird www.flu.org.cn 2014-01-10 18:09 来源：新快报

此前广州首例 H7N9 感染者曾送家禽到该酒楼，酒楼员工暂无症状

据广东省卫计委报告，1 月 7 日，广州市疾控中心在广州市海珠区迎福阁酒楼厨房采集的 17 份外环境样本中，检出 3 份样本 H7N9 禽流感病毒核酸阳性；省疾控中心在汕头市金平区龙北市场外环境监测采集的 34 份样本中检出 8 份样本 H7N9 禽流感病毒核酸阳性。当地政府立即启动应急响应，采取有效措施，做好相关防控、处置工作。

酒楼砧板和污水中检出病毒

此前，省卫计委报告称，1 月 6 日，广州发现 1 例人感染 H7N9 禽流感病例。广州市报告病例谢某（男，47 岁，茂名籍），居住佛山市南海区，从事家禽销售和运输，2013 年 12 月 25 日发病，2014 年 1 月 3 日从佛山市南海区黄岐医院转入广州医学院第一附属医院，病情危重。

“谢某曾经送活禽到海珠区迎福阁酒楼，于是我们对酒楼外环境进行了检测。”昨日，市疾控中心主任王鸣接受记者采访时表示，在对病例活动范围内的场所进行检测时，疾控部门在该酒楼厨房的砧板和污水样本中检出三份 H7N9 病毒阳性样本。市疾控中心表示，已对该酒楼进行清洁消毒，酒楼员工暂无可疑症状。

争取把酒楼厨房纳入监测范围

昨日，市疾控中心副主任杨智聪接受记者采访时表示，与 H5N1 相比，H7N9 禽流感病毒隐蔽性更强、传播力更强、更具有引发大流行的风险。他说：“不同于对禽类高致病性的 H5N1，H7N9 禽流感对禽类低致病性，禽类感染后不易被发现，对病禽不能做到及时扑杀处理，人类有更多接触病禽的机会。”

“前往活禽市场但无禽类接触，较未前往过活禽市场危险 3 倍，在活禽市场接触禽类，较未前往过活禽市场危险 10 倍。”杨智聪表示，肉菜市场是 H7N9 流感病毒主要传染的场所，国家 CDC 研究显示活禽市场暴露是危险因素。因此他建议，与家禽密切接触的工作人员，包括从事养殖、分拣、运送、销售、宰杀、免疫接种工作和病、死禽处理等的人员，以及对有关场所进行终末消毒的专业人员需要特殊防护。特殊防护的要求是穿普通工作服，外罩一层防护服（隔离衣），戴防护口罩、医用一次性乳胶手套，穿长筒靴或可消毒的保护性脚套。注意洗手，减少感染发病机会。

杨智聪还表示，去年 4 月份全国发生多例人感染 H7N9 禽流感病例后，广州疾控部门一直对外环境中的 H7N9 病毒进行监控，但监测点主要在肉菜市场、禽类批发市场、禽鸟栖息地等，每周检测数量是 200 多份。“今后会尽量把酒楼厨房纳入至监测范围。”他说。

●市疾控中心提醒

处理生禽案板刀具 不能用于加工熟食

1. 不要购买活禽自行宰杀，不接触、不食用病（死）禽、畜肉，不购买无检疫证明的鲜、活、冻禽畜及其产品。
2. 生禽、畜肉和鸡蛋等一定要烧熟煮透。
3. 注意饮食卫生，在食品加工、食用过程中，一定要做到生熟分开，避免交叉污染，处理生禽、畜肉的案板、刀具和容器等不能用于熟食；在加工处理生禽畜肉和蛋类后要彻底洗手。

广东近期有可能连续出现散发病例及个别重症病例

新快报讯 记者刘正旭 于杨 通讯员粤卫信报道昨日，副省长林少春主持召开全省人感染 H7N9 禽流感防控工作领导小组会议，贯彻落实省委书记胡春华、省长朱小丹关于防控工作的批示精神，组织专家研判当前人感染 H7N9 禽流感疫情形势，部署下一阶段防控工作。

会上，省人感染 H7N9 禽流感防控专家组对我省人感染 H7N9 禽流感疫情形势进行了研判，通报了病原学研究进展及临床救治情况，并对下一阶段防控工作提出建议。省卫生计生委、农业厅、工商局等单位汇报了近期防控工作情况。专家组认为，近期，广东有可能连续出现散发病例及个别重症病例，人类感染 H7N9 病毒存在个体差异，少数有基础疾病及免疫缺陷的人发病风险稍大，病毒将与人类活动长期共存，但大规模爆发风险低。

林少春指出，当前，广东正处于人感染 H7N9 禽流感病例的易发、多发期，各地、各部门要从确保人民群众生命安全的高度出发，保持高度警惕，克服麻痹和懈怠思想，继续加强联防联控，严格履行职责，切实做好防控工作。

林少春要求，要从源头做好防控，继续坚持落实好活禽交易市场“一日一清洗消毒，一周一大扫除、一月一休市”制度，扎实做好清洁消毒，不留卫生死角。全面落实从事活禽交易、屠宰从业人员的卫生防护措施。加大外环境检测力度，建立和完善禽类溯源追踪机制，加快推进禽类市场规范化建设，逐步推广活禽集中屠宰冷链配送生产销售模式。在治疗方面，要继续抓紧对全省医务人员，尤其是基层医务人员进行培训，熟练掌握人感染 H7N9 禽流感的诊断、治疗、重症病例识别和转诊流程，做到早发现、早报告、早诊断、早治疗，减少发病率和死亡率。

相关链接：

http://www.gzcdc.org.cn/news/monitor/201401/content_1470.htm